



「現在の青図 - Shadow of Lives - 2017 -」 J Cyanotype 235cm x 450cm ©Shunya.ASAMI

SHADOW TREASURE HUNTING

浅見俊哉 × さいたま de 海賊

2023.3/11-3/19

STUDIO・45



SHADOW TREASURE HUNTING

浅見俊哉 × さいたま de 海賊

あなたの「たからもの」影にします！

「さいたま国際芸術祭2020」をきっかけにして出会った写真作家：浅見俊哉と「さいたま de 海賊（さいたま国際芸術祭2020先行プロジェクト：サーキュレーションさいたま）」が手をつなぎ、あなたの「たからもの」を影の写真にして展示する『SHADOW TREASURE HUNTING』を STUDIO・45 で実施します。

内容は、あなたの「たからもの」を持参していただき、カメラをつかわない影の写真（フォトグラム）を共に制作し、会場に展示していく参加型プロジェクトです。会期中、参加者の「たからもの」の影が会場に溢れ、次第に変化していく空間をつくっていきます。会期後は『万影集』として編纂します。

浅見はこれまで全国各地でフォトグラムのワークショップ『影をつかまえる』を開催し、参加者との制作を通して様々な対話の場を生み出してきました。今回の展示作品のひとつに、『現在の青図ー Shadow of Lives -2017ー』があります。「中之条ピエンナーレ 2017」で発表した本作は、群馬県吾妻郡中之条町の博物館から借用した約5500年前の縄文土器、弥生人の人骨、古代人の宝飾、農機具や養蚕の道具、広島の被爆樹木の葉、東日本大震災によって残された日用品の様々な遺失物等をモチーフとして撮影し、太古から現在に至る人々の生活の営みを一つの感光面に記録した青写真です。本プロジェクトとこの作品を組み合わせることで、生活都市さいたまでどのような意味を見出せるでしょうか。

会場の STUDIO・45 は、約35年営まれたまちの写真撮影スタジオ。その空間を生かし、来た人がホッと、落ち着ける場所、人と人が繋がる空間作りを目指して様々なプロジェクトを行っています。今回は、STUDIO・45 を「さいたま de 海賊」のアジトと見立て、プロジェクト参加者の「たからもの」の宝物庫のイメージで皆様をお迎えします。どうぞ、お気軽にご来場ください。



『現在の青図ー Shadow of Lives -2017ー』
2017年制作 450cm×235cm Cyanotype
中之条ピエンナーレ 2017 伊参スタジオ



『現在の青図ー Shadow of Lives -2017ー』制作風景



フォトグラムをつくってみよう！！

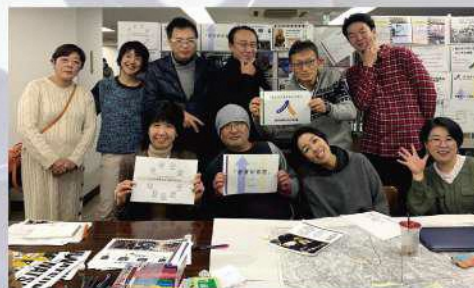
会期中（3/11-3/19）はカメラを使わないフォトグラムの制作が可能です（A4サイズ：210mm×297mm）。
制作希望者は「たからもの」をご持参の上ご来場ください。
制作の所用時間は60分-90分です。作品は2枚制作し1枚を会期中会場に展示させていただきます。会期終了後は『万影集』として編纂します。1枚は記念にお持ち帰りいただけます。
（参加は無料です。エプロンなどの作業着をご用意下さい。天候の状況により撮影が出来ないこともあります。参加人数多数の場合にはお持ちいただくこともあります。予めご了承下さい。9歳未満は保護者同伴での参加になります。）



浅見俊哉 Shunya Asami

美術家・写真作家・造形ワークショップデザイナー

1982年東京都葛飾区生まれ、2006年文教大学教育学部美術専修卒業。
2004年頃から、「時間」と「記憶」をテーマにものを直接感光面に置き一定の太陽光で撮る写真（フォトグラム）を制作。代表作にヒロシマの被爆樹木を2012年より毎年撮り続ける『呼吸する影-被爆樹木のフォトグラム-』がある。「つくること」と「つたえること」の両輪を持って活動する事が自身の芸術活動であると考え、主にワークショップやアートプロジェクトを通して制作者と参加者が双方向的に創造力を生み出せる「場」をつくらせている。「さいたま国際芸術祭2020」では市民プロジェクトコーディネーターとして「さいたまアートセンタープロジェクト（SACP）」を手掛けた。2021-2022年には「さいたま国際芸術祭レガシー事業」としてSACPを継続実施。「さいたま国際芸術祭2023」では、市民プロジェクトキュレーターを務める。



さいたま de 海賊

さいたま国際芸術祭2020の先行プロジェクトとして行われた、「サーキュレーションさいたま」により誕生した「さいたま de 海賊」は、様々な価値観が共存していくための5ヶ条（①おせっかい上等！②肩書無用③まじリスベクト④逆境サンキュー⑤押しつけNG）を定め、互いが尊重し合い「お互いさま」の関係を構築していくことをコンセプトとして、様々な活動を行い、社会に広めていくことを目的として活動するチーム。

メンバー：
河西純恵・金福漢・小泉文・小檜山修・佐藤幸恵・しんやけいこ・多田那津子・早田大高・船戸均・矢ヶ崎健二（五十音順）

2023. 3/11 (SAT) - 3/19 (SUN) 13:00-17:00

□関連企画①：トークイベント 3/11 15:00-16:00

本企画関係者、「美術と街巡り・浦和」実行委員：松永康氏をゲストに、出品作家：浅見俊哉と、STUDIO・45小泉文、「さいたま de 海賊」が展示作品やプロジェクトについて語り合います。【定員：15名先着順】

□関連企画②：公開制作 3/19 13:00-14:00

出品作家：浅見俊哉氏が「さいたま de 海賊」と作品の公開制作を行います。【9歳未満は保護者同伴・定員：10名先着順】

このチラシは4000部作成し、1部あたりの作成費用は15.5円（概算）です。

STUDIO・45

□会場：〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区
高砂4丁目3-1 高砂サニーコーポ 103
□お問い合わせ：info@studio-yongou.jp（小泉）

□主催：さいたま国際芸術祭実行委員会
336-0024 さいたま市南区根岸1-7-1
□電話：048-767-5411/FAX：048-767-5351

さいたま国際芸術祭2023 テーマ「わたしたち」
2023.10/7日（土）-12/10（日）開催予定



↑STUDIO・45 website